

禁煙外来における禁煙成功因子： 京都大学医学部附属病院における過去起点コホート研究

喫煙は心血管疾患、様々な悪性新生物などの発症リスクであり、禁煙は該当疾患の発症リスクを低減します。禁煙治療を保険診療で行う禁煙外来というものがありますが、この外来は大きく2種類があると考えられます。クリニックなどでの一般的な禁煙外来と、総合病院の禁煙外来です。一般的な禁煙外来に通院する患者さんは、自ら禁煙希望があり受診したケース、クリニック通院中の患者さんが同院の禁煙外来に並行して通院するケースなどが想定されます。一方、大学病院や地域の主要な市中病院の禁煙外来に通院する患者さんは、そもそもの通院理由である、クリニックでの介入範囲を超える治療を要す基礎疾患を持つ場合が多く、禁煙外来の受診の契機も、一般的な禁煙外来とは異なるケースが想定されます。例えば、手術前に紹介されるケースなどです。

他科から紹介された患者であることに注目して検証された、禁煙外来の成功因子については、過去の研究では明らかになっておらず、本研究ではそれを調べることを目指しています。

対象者	2001年4月の京都大学医学部附属病院禁煙外来開始以後、 2020年12月31日までに受診した方
調査項目	年齢、性別、職業、基礎疾患、予定している治療、喫煙開始年齢、喫煙年数、 喫煙本数／日、禁煙歴の有無と成否、喫煙に対する自信（%）、喫煙する同居 家族の有無、呼気一酸化炭素濃度など
研究実施期間	倫理審査委員会承認後 ～3年間

本研究は、京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を得て実施するものです。

研究にご協力いただいた方へ

皆様が健やかに過ごされていることをお祈りします。研究の対象者となることを希望されない方またはその代理人は、研究担当者 福田 までご連絡ください。可能な限り対応させていただきます。ただし、ご連絡いただいた時にすでに研究の解析結果がでており、論文投稿中あるいは公表されていた場合には対応できない場合があります。

個人情報保護の仕組み

この研究において得られた情報は匿名化されており、研究情報から個人の特定はできません。また、学術論文などで研究結果を報告する際には、個人が特定できる情報は除いた形で公表されます。

研究の実施体制

研究責任者	京都大学大学院 医学研究科 社会健康医学系専攻 健康情報学分野 教授 中山 健夫
研究担当者	京都大学大学院 医学研究科 社会健康医学系専攻 健康情報学分野 福田 芽森
研究協力者	京都大学大学院 医学研究科 社会健康医学系専攻 健康情報学分野 特任教授 京都大学医学部附属病院 呼吸器内科 禁煙外来 高橋裕子 京都大学大学院 医学研究科 呼吸器内科学 教授 平井豊博

対象施設

京都大学医学部附属病院

研究資金

本研究の研究資金には、研究責任者、研究担当者、研究協力者の属する京都大学大学院 医学研究科 社会健康医学系専攻 健康情報学教室の運営費用を充てます。

利益相反の状況

利益相反については、京都大学利益相反ポリシー、京都大学利益相反マネジメント規程に従い、京都大学臨床研究利益相反審査委員会において適切に審査されます。

中山健夫 ファイザー株式会社 謝金（2019年 50–100万円）

上記は今回の研究とは無関係ですが、ファイザー株式会社は禁煙治療薬を開発・販売しているため、記載しております。

研究相談窓口

京都大学公衆衛生大学院 医学研究科 社会健康医学系専攻 健康情報学分野

担当者氏名 福田芽森

TEL 075-753-4488

E-mail fukuda.memori.f12@kyoto-u.jp（*を@に変えてください）

京都大学医学部附属病院 相談支援センター

TEL 075-751-4748

E-mail ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp（*を@に変えてください）